

北秋田市市民提案型まちづくり事業実施事業一覧／平成19年度～令和元年度

No.	団体名／代表者(当時)	事業名称	内 容	目 的	実施年度	備 考
1	あそび体験活動ボランティア 「この指と〜まれ」 ／豊村 聡	あそび体験イベント「白い風と 遊ぼう」の開催	昔のあそび体験、雪だるま仮装コンテスト、 餅つき大会、木工あそび、縄ない体験、 語りべ等	・子供の遊びの原点を振り返る ・学校5日制～土曜日への対応、地域の大人が 「公」だけに頼らず対策を講じていく ・「伝統遊び」の継承 ・遊びを通して親子のふれあいの場を模索	平成19	
2	北欧の杜ウィンターゲーム 実行委員会 ／金森 正光	北欧の杜ウィンターゲームの 開催	スノーシューオリエンテーリング、XCスキー、 チュービングダウヒル、 スノーフラッグ等の複合的アドベンチャーレース	・北欧の杜、里山を活用し、冬の新しい遊び、 スポーツを全国に向け提案 ・北秋田の観光産業発展に寄与する	平成19 平成20 平成21	
3	コールもりよし合唱団 ／近藤 雪美	もりよし合唱祭の開催	橋本五郎氏講演、各団体合唱、 「浜辺の歌」「秋田県民歌」の全員合唱	・「成田為三誕生の地」「浜辺の歌音楽館」を 郷土の貴重な文化財として顕彰、後世へ継承 ・浜辺の歌音楽館を中心とした明るいまちづくり ・観光の誘客 ・「メロディの流れるまち」として県内外にPR	平成19	
4	まつたけ林業育成会 ／月居 博明	まつたけ祭りの開催	阿仁のまつたけを市内外の方々、 国体参加者に提供	・まつたけ山の保全と環境整備 ・イベント開催による地域おこし	平成19	
5	女声合唱団る・それいゆ ／戸嶋 保子	The布団コンサートの開催	座布団に座り、ティータイムを設け、 聴く人も膝を交えながら一堂に会して、 つながりを深める	・音楽合唱の楽しさ喜びを味わい、 歌の素晴らしさを伝える ・音楽合唱の輪を広げるため、他団体、他地域との 交流を求め、地域に根ざしたまちづくり活動を行う	平成19	
6	今泉自治会 ／篠内 順一	スギッチの電飾と菅江真澄の 松周辺整備	①市営薬師山スキー場のスギッチ電飾と ミニコンサート開催 ②菅江真澄「おらが滝」の中に出てくる、 今泉大堤や松の周辺整備と看板設置	・集落自立を目指し、いろいろな自立事業を 実施することによって、参加型自治会の 組織づくり、基礎基盤をつくる ・地域の活性化、資源の見直し、 歴史再発見、宣伝	平成19	
7	異人館倶楽部 ／庄司 昭	産業遺産旧阿仁鉱山フォーラ ムの開催	阿仁郷土文化保存伝承館において、 阿仁鉱山の歴史や現状についての講演、 今後の方向づけ、保存、活用についての ディスカッション	・日本三大鉱山の一つに数えられた阿仁銅山跡を 一部でも整備し、後世に継承する ・まちのにぎわい、活性化、情報発信 ・地域経済が潤うように、地域を元気に	平成19	
8	幸屋渡幸友会 ／上杉 忠雄	マタギ街道の開設	チェンソーアートによる木彫り熊、 ふくろう、鷹、鯉等を製作し、 幸屋渡入り口から打当温泉まで、 10km間51基を据え付ける	・阿仁マタギの里の雰囲気をもっと強調する ・林業の活性化に結びつける(間伐材の利用) ・マタギ街道の開設による交流人口の増加 ・地域経済の活性化、地域の元気を自信を取り戻す	平成20	
9	NPO森吉山ネイチャー協会 ／加藤 寿	アドベンチャー&ワイルドチャ レンジレースMt.森吉の開催	森吉山麓一帯を利用し、ブナの原生林、 渓流、滝を踏破する冒険レース	・森吉山麓の魅力と利活用を全国にPR ・滞在型、自然体験型の観光客を増加 ・地域経済と文化に寄与	平成20 平成21	
10	鷹巣建設技能組合 ／三沢 正悦	物造りふれあい広場の開催	市産業祭会場において、巣箱作り、 カンナかけ、左官の壁塗りその他、 大工達による物造りの実演競技会	・子供達にものづくりの楽しさ、ものを大切にする 心を持ってもらい、創造性豊かな感性を育みたい ・環境にやさしい地場素材(秋田杉、珪藻土)の 良さの理解を広める ・地場資源でのものづくりの定着を目指す	平成21	
11	鷹巣安全な石けんを広める 会 ／柳谷 純子	秋田の環境とエネルギーを考 えるつどい	発明家藤村靖之と秋田県立大教授 谷口吉光を迎えて、車座座談会および シンポジウムを開催	・大震災を経験してエネルギーに依存し過ぎない 社会を目指すための仕組みを探る ・地域資源を生かした衣食住の地産地消を学ぶ ・子供達に豊かな未来を残すための方策を考える ・住民の地域社会への関心を高める	平成23	元氣あきた資金 200,000円
12	まちなかトープ ／村岡 典子	ありがとう♥コンテスト・フェア	自主事業および他団体主催のイベント会場の 一角で、「ありがとう」などの気持ちを叫んで 声量や言葉の内容を競うコンテストを開催。 H24年度はフェア形式で多くの方に 参加してもらうことに重点おく	・老若男女が集える場、共有の時間づくり ・自分の気持ちをはっきり伝えられるようになろう ・声を出すことで元気になるう ・メインイベントをコラボ形式で盛り上げる ・特産、名産品を活用し観光物産のPR	平成23 平成24	
		「この地球と共に生きる」 ～ 環境について学ぶ ～	講演会の開催 ①「この地球の上に生きるということ」 ・水質・大気・土壌・食品 講師 菅原昇 参加人数50人 ②「世界とオシャベリ」 ・アメリカの食・中東の食 講師 マグワイヤ由紀子、小松由佳 参加人数50人	環境、災害、生活をテーマにした講演から、 水、食料、防寒対策、節電、保存食などを 日常に取り入れながら環境汚染、突然の災害、 生活変動に対処できるように学び、家族、 隣近所連家でい災害時、生活・環境の変化に 向い合い、対処できる地域づくりを目指す	平成25	
13	北秋田鷹巣祇園太鼓振興会 ／今立 明	第21回北秋田鷹巣祇園太鼓発 表審査会	市内小学校等で巡回指導をしており、 その受講生の練習成果発表の場として 審査会を開催	・技術の向上と親睦、交流の場づくり ・感動、達成感を共に味わうことで郷土愛の芽生え、 将来への期待につなげる ・綴子大太鼓を土台に、新しい伝統文化としての 成長を目指す ・継承のための人材育成	平成23	元氣あきた資金 86,000円
14	北秋田市商工会女性部 ／和田テエ子	鷹巣中央公園景観整備おもて なし事業	鷹巣中央公園内に花壇を作り、来春開花の チューリップ水仙の球根1,000個を植樹する。	・景勝地として桜シーズン終了後の景観環境を維持 ・公園のイメージアップ ・利用者や園外来訪者の増加を期待	平成24	
			24年度に造成した花壇を拡張するとともに、 固定看板を設置する。	・同上目的のグレードアップを図る。	平成25	
		「人づくり」と「地域づくり」を学 ぶセミナー事業	講演会の開催 「チームづくり」 講師 中村和雄 参加人数500人	・多くの市民が地域づくりににおいて最も重要な 「人づくり」を学ぶことで、地域振興に対する 意識の底上げ、レベルアップにつなげる。	平成26	
15	根森田自治会 ／三浦 清成	根森田清花園整備事業	・桜・百日紅の補充植樹と育成の管理 ・遊歩道の整備 (3エリアの内No1エリア／100mの整備)	・美しい里山・集落景観を保存するため、 集落裏手の高台に「清花園」を整備する。 ・四季美湖～根森田清花園～寺院など散策コースに 組み入れることで、森吉四季美湖と連携した 名所・観光客の憩いの場を創出する。	平成25 平成26 平成27	
16	阿仁合ぶらぶらガイド (阿仁合駅前周辺活性化実 行委員会散策グループ) ／戸嶋 喬	阿仁合観光資源パワーアップ 事業	・観光場所(寺院等)の案内・説明看板の設置 ・寺院で開催している催事等を巡る 「ミニフットバスツアー」を実施・案内する ・ぶらぶら観光ガイド育成公開講座 ・町内案内パンフレット作成 ・講演会の開催 ・阿仁合駅前「銀山亭」への古民具の展示と 説明パネルの作成	・阿仁合駅前の活性化と内陸線の乗車運動の 推進のため各種イベント開催と、かつて、 産銅日本一であって町並みを案内し、 人物・文化交流を図る。	平成25 平成26	

北秋田市市民提案型まちづくり事業実施事業一覧／平成19年度～令和元年度

No.	団体名／代表者(当時)	事業名称	内 容	目 的	実施年度	備 考
17	おさる元気ガイド ／長岐 直介	葛黒火祭り復興事業 (葛黒火まつりかまくら)	・火祭りの材料の準備 ・火祭りの学術調査と学習会 ・火祭りの実施と記録・保存	・近年休止している県内でもきわめて貴重な「葛黒の火祭り」を再現し、七日市地域のつながりを強め、次世代へ伝承することで、地域の活性化と地域コミュニティの再構築を実現する。	平成25 平成26 平成27	文化庁「文化遺産を活かした地域活性化事業」 40,000円
18	前山元気村実行委員会 ／熊谷 良一	子供に夢を！「前山元気村」三世代交流大会	・魚つかみ大会 ・地域防災体験(消火器の使い方) ・前山芸能保存会 ほか	・子供達がほかの世代との交流を通し、自主的に学び自分自身に生かそうとする心を芽生えさせる。 ・子供達・大人たちの双方に価値ある交流会。	平成27 平成28 平成29	
19	鷹巣阿仁青年会議所 ／虻川 剛	ノスタルジックカーフェスタin北欧の杜	・旧車両展示:昭和製造の四輪・三輪・二輪 ・店舗出展:市内の飲食店事業者等 ・イベントの開催:交通安全祈願祭、職業訓練校の木製自動車の展示等。	・旧車の展示、地域観光の発信、地元の職の提供を行う事で古き良き時代の昭和を北欧の杜公園の環境とイベント等を通じて感じていただく。 ・安全で賑やかな会場づくりを行う事で集客数の増加、地元の活性化に繋がることを目的とする。	平成27 平成28 平成29	27年度(第7回) 28年度(第8回) 29年度(第9回)
20	大阿仁地域活性化ワーキング組 ／松橋 悦治	大阿仁満喫フェスタの開催 山業学校実験事業	・大阿仁満喫フェスタ(ムラ市&ムラ旅)を10月と2月に開催 ・ムラ市(物産販売)10月と2月に開催 大阿仁地域住民から野菜や加工品を集めて販売 ・ムラ旅(集落散策)10月に開催 地元案内人と集落散策するガイドツアー ・伝統料理クラスの開催 夏・秋・冬の3回の講義 ・大阿仁地域体験・満喫ツアーの企画・実施 伝統料理クラスの開催に合わせたツアー ・伝統料理PR冊子の作成・配布 四季の伝統料理をテーマにした冊子の作成・配布	・大阿仁地域の旧大阿仁村の住民が主体となって、道の駅あにを会場とした地域の物産販売を行うことと、都会の人を招いた集落散策を実施することで都市農村交流を通じた地域の魅力・価値の再認識を促すことを目的とする。 ・大阿仁地域の山の恵みを活かした生業(山業)の技を学ぶ学校の立ち上げを目指し、その第一歩と山の恵みの食材を使った伝統料理を、四季を通じ学ぶ機会を創ることを目的とする。	平成27 令和元	
21	ぶっ飛びLive実行委員会 ／生田島 哲也	One step up ぶっ飛びLive in 北秋田	・One step up ぶっ飛びLive in 北秋田の開催 ・市内外のアマチュアバンド、ダンスグループの公演 ・屋台を展開	・地域伝統芸能、子供、地元アマチュアバンドの発表の場の創出、音楽を通じた北秋田市の活性化等を目的とする。	平成28 平成29 平成30	
22	魚座造船所コンサート実行委員会 ／神成 幸志	魚座造船所ライブ	・魚座造船所ライブの開催 ・市内外のアマチュアバンド、ダンスグループの公演 ・屋台、物販コーナーを展開	・旧浦田小学校グラウンド敷地の有効活用、地域間交流の促進、地域の親睦と文化的向上等を目的とする。	平成28 平成29 平成30	
23	綴子上町自治会 ／石川 仁司	綴子大太鼓祭り保存継承事業	・大太鼓祭りにおける纏等の棒持ちの募集 ・大太鼓祭りの記録保存	・綴子大太鼓祭りの担い手を募集し、祭りの様子を記録保存することで、伝統の保存・継承、地域活性化等を目的とする。	平成28	
24	鷹巣南小学校お話会クローバーZ ／長岐 直介	古民家で民話を聞こう	・七日市の長岐邸で、語り部が地域に伝わる民話を語り、昔懐かしい民話、地域の埋もれている民話を聞く	・地域の伝統文化に触れ、地域の文化を再認識する機会とする。	平成29 平成30 令和元	
25	阿仁合コミュニン ／長谷川 拓郎	阿仁合の学校 秋田内陸線鯉のぼりプロジェクト	・阿仁合の学校 全5回開催 ・毎回講師を招き、阿仁地域の文化や歴史などを受け継ぐ講習会のような学校を開催する ・ワークショップも開催予定 ・秋田内陸線沿線に鯉のぼりを設置する	・阿仁地域に伝わる文化や、語り継がれてきた歴史などを受け継ぐ場をつくり、地域の担い手や後継者の育成を目的とする。 ・地域外からの参加者に対しても地域のファンとなって何度も訪れるきっかけとなるような場を作りたい。 ・子どもの日に合わせて、多くの人に秋田内陸線沿線に足を運んでもらう。内陸線の利用促進と阿仁川河川公園のPRにつなげる。	平成29 平成30 令和元	
26	めちやアニ×KitaakiCoSta実行委員会 ／高井 淳	めちやアニ×KitaakiCoSta	・アニメ文化を中心としたサブカルチャーイベントを開催する。 ・駅前商店街の特徴や魅力を紹介する。	・若い世代を中心とした幅広い年齢層が駅前商店街へ立ち寄るきっかけをつくり、商店街の活性化を促す。	30年度	
27	特定非営利活動法人ハッピーデリバリー ／佐藤 信子	「音楽と笑顔の駅 米内沢」の整備による地域の賑わい創出	・駅舎内の整備(笑う岩偶、岩偶絵描き歌のPRコーナー) ・駅舎オープニングセレモニーの開催 ・散策マップ作成、まち歩きスタンプ設置	・浜辺の歌音楽館と秋田内陸線米内沢駅を有機的に結合し、新たな人の流れと賑わいを創出する。	平成30	
28	もりよし盆踊り実行委員会 ／生田嶋 照雄	もりよし盆踊り	・昨年開催した「懐かしい盆踊り」を今後も開催し、地域内外の参加者の交流を深める。	・踊り手と観衆が多数集まり、交流が深められ、地域の活性化につなげる。	平成30 令和元	
29	阿仁電友会 ／菊地 忠雄	しあわせの阿仁合駅 光のイルミネーション事業	・森吉山樹氷・スキーへの玄関口である阿仁合駅へのイルミネーションの設置。	・北秋田市の冬の観光スポット「世界三大樹氷の一つ森吉山」の玄関口である秋田内陸線阿仁合駅に光のイルミネーションを設置し、阿仁合駅の認知度の向上を目的とする。	平成30 令和元	